

大きな木のあるお医者さん
 こころ・チャイルド・クリニック

子どもの事故についてお話しします。

子どもの死亡原因の第1位は、病気でなく不慮の事故であるのをご存じですか。子どもの目線で危険なものを探し、事故の起こらない環境づくりに取り組みましょう。

●**転倒・転落**…浴室、脱衣所、キッチン

の水回りは滑りやすいので、すべり止めつきのマットを置き、靴下、スリッパ、その長いスポンをはかせないようにします。階段では手をつなぐ、大人が下側を歩く、ゲートを置く、ペランダには足台になるものを置かないように気をつけて下さい。転倒後にしっかりと立ってその後普段と変わらなければ心配ありませんが、1〜2時間は安静にして経過をみましょう。顔色が悪い、嘔吐して活気がなければ、すぐに病院へ。痛かったり不自然な動作があれば骨折の可能性があり、整形外科医による診察が必要です。

●**水の事故**…浴槽や洗濯機に子ども

を近づけないように、水をためたままにしなごうにしましょう。

●**やけど**…ポット、アイロンなどは手の届かない所に置き、暖房器具には柵をしましょう。やけどの際には衣服はぬがさず、水道水で15分程度冷やした後病院へ。冷やすことで皮膚の深部への進行を防ぐ効果があります。

●**窒息**…寝返りが上手にできる前のうつぶせ寝は避けましょう。体が沈む柔らかい寝具、重い掛物を使用しないようにします。ナッツ類、鉛玉、皮ごとのブドウ、こんにやくゼリー、コイン、ボタン電池、ブロック、シールなどに注意しましょう。餅、パンなどは、少しずつよく噛んで食べさせましょう。

●**誤飲**…誤飲した物、時間を医療機関に連絡し、指示を仰ぎましょう。左記の情報提供の窓口も便利です。

- ◆大阪中毒110番 / 365日、24時間対応
072-777-124400
- ◆こけら中毒110番 / 365日、9〜21時
020-6902-6000
- ◆般市民向けホームページ
<http://www.jpisonic.or.jp>

吐かせてはいけないものがあり注意が必要です。

- ①水か牛乳を飲ませ吐かせると…洗剤、せっけん、シャンプー、リンス、化粧水、乾燥剤、ホウ酸だんごなど
- ②水を飲ませ吐かせる(牛乳中の脂肪に溶けて吸収がよくなる)…衣類用防虫剤、トイレ用消臭剤、ナフタレンなど
- ③何も飲ませないで吐かせる(水や牛乳で吸収がよくなる)…タバコ
- ④吐かせてはいけない…漂白剤、アンモニアなど強酸、強アルカリ、石油製品、有機溶剤を含むマニキュア、除光液など。

おわりに

大人の交通マナーはどうでしょうか。赤信号でも渡る人、横断歩道のないところを渡る人、メールをしながら道を歩く人。子どもたちは大人のまねをして大きくなります。交通ルールを子どもたちに伝えるとともに、子どもたちの見本になるようにしたいものです。



野村 真二 院長

平成22年9月に小児科開業、平成23年4月に病児保育室を開設。未熟児新生児医療の経験を生かして、心をこめて診療、子育て支援を行っていきます。

こころ・チャイルド・クリニック Cocoro child clinic

4階の病児保育室ちゅんちゅんもご利用下さい
 お問い合わせはtel.082-848-6619まで

●診療日・時間

月	火	水	木	金	土
9:00~12:00	○	○	○	○	○
14:00~18:00	○	○	○	○	△

14:00~15:00に乳児健診、予防接種を行っています。
 △17:00まで【休診日】日曜・祝日



DATA
 広島市安佐南区伴南1丁目5-18-8-301
 西風新都ゆめビル
tel.082-849-5519

ACCESS
 広電バス「こころ産業団地」「こころ西公園」行き「こころ入り口」下車

